

## (2) 評価個票例 (〇〇小学校 教育活動領域)

評価者氏名〔 担当； 年・ 専科・少人数〕

学校教育目標		中・長期的目標
体を動かし、頭を働かせ、心に感ずる子ども		故郷〇〇の豊かな自然と人材を最大限に活用して、豊かな心と、たくましい体と、確かな学力を持った子どもを育成する
重点目標	1	少人数の特色を生かした授業実践と体力づくり
	2	算数の授業研究を中心に、「分かる授業」・「基礎基本の定着」の研究
	3	地域素材の教材化と、その実践を各学年一教材以上実施

※評価【A：十分達成 B：ほぼ達成 C：不十分】

評価項目		評価の観点	評価方法	評価	成果と課題
「分かる」算数の授業づくり	2	〇〇先生（□□大教授）と〇〇指導主事（算数）の指導に基づき、「全員が導入問題を解ける」を中心に据えた授業づくりができたか。	・授業研究会 ・学年会での相互評価 ・評価の記録		
	2	毎時間、5分程度のドリル学習と習熟の時間を確保することができたか。	・授業研究会 ・学年会での相互評価 ・評価の記録		
連合学年を中心とした合同授業の実施	1	体育などで連合学年等での活動を取り入れ、子どもの課題に応じた授業展開を行うことができたか。	・授業研究会 ・学年会での相互評価 ・指導の記録		

小規模小学校の教科指導係が、係とかかわりのある評価項目の評価を行うために、各教職員に配布する評価個票の例です。記載された評価方法をもとに、「評価」の欄には「A」「B」「C」のいずれかを、「成果と課題」の欄には、その要因を具体的に記入します。係はこれを集約して、この2つの評価項目に対する係としての評価を行い、学校自己評価委員会へ提出します。